

IT 活用実践事例

小学校
2年
国語

お話の世界へ

～簡単IT活用で、興味を引き、ポイントを押さえる

実践者：登米市立北方小学校 大内 理恵

1 学習の概要

キーワード

引き付ける

明確な指示

作文スキルの指導

映ってうれしい

IT活用のポイント

- ・ 絵本の挿絵を投影し、視覚に訴え、児童の心を引き付ける導入
- ・ 児童と同じノートを投影し、マスを意識させ、作文のスキルを身に付けさせる指導
- ・ モデルとなる児童のノートを投影し、学習の振り返りをさせたり、基礎・基本となる事項をしっかり押さえさせたりする指導

単元名

だれがなにをしたかを考えながら読もう

単元の目標

物語の展開をとらえ、人物の行動や会話を読み取って、気持ちを想像する。

本時の学習

ニャーゴの初発の感想を持つ

本時の目標

ニャーゴの読み聞かせを楽しく聞き、物語の大体を知って感想を持つ。

本時の活用コンテンツ

絵本「こねこのしろちゃん」堀尾青史作
株式会社チャイルド本社
「11ぴきのねこ」馬場のぼる作
こぐま社
「心をひきつける導入」で活用
(実践のポイント参照)

補助資料

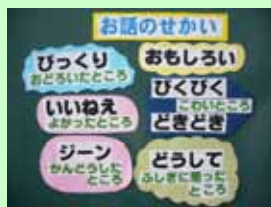
大型絵本「ニャーゴ」(挿絵をもとに自作)
お話のせかい(物語を感じる心のことばを吹き出しの形で自作)

単元計画(8時間扱い)

- 一次 読み聞かせを聞き、感想を発表し合う。(1時間)
物語の順序をとらえる。(1時間)
だれが何をしたところかをまとめる。(1時間)
- 二次 ねこがねずみに出会ったとき、ねこがねずみに誘われて桃を食べに行くときの様子や気持ちを想像する。(1時間)
ねこの心境の変化を考える。(1時間)
ねこがねずみを食べなかった理由を考える。(1時間)
好きな場面を選び、様子や気持ちを言葉や絵で表現する。(1時間)
- 三次 「図書紹介」を参考に、自分が読みたい本を探して読む。(1時間)

本時の学習(45分)

学習活動	指導上の留意点
1 物語のねこはさまざまな感情をもつことを想起する。	・ 絵本の挿絵をプロジェクタとスクリーンで投影し、ねこの物語に興味を持たせる。
2 「ニャーゴ」の読み聞かせを聞いて、物語の大体をとらえ、感想を書く。	・ 話のおもしろさがより一層伝わるように大型の絵本を使い、読み聞かせをする。 ・ 「お話のせかい」を提示し、物語を感じる心の言葉に添いながら感想を持てるようにする。 ・ 児童のノートを実物投影機で投影し、感想を書くときのノートの使い方を示す。
3 感想を発表し合う。	・ 「同感」「付け足して同感」「違う感想」など、ハンドサインをさせながら感想発表を聞き合うようにする。
4 これからの学習課題を考える。	



心をひきつける導入

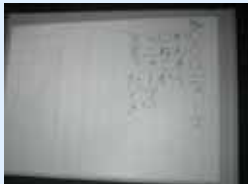
「物語の登場人物は**いろいろな気持ち**があります。気持ちを想像しながら読むと楽しいですね。これから学習する『ニャーゴ』というねこのお話はどんなお話でしょう。」
会話をしながら絵本の挿絵を投影する。



「あっ、しろちゃんだ。11ぴきのねこだ。みんなで大きな魚をやっつけたんだよね。」
と、食い入るようにスクリーンを見つめた。
デジタルカメラで写した挿絵をプロジェクタで投影することによって、児童の**集中を促し、心を引き付ける**ことができる。そして、**物語の内容や読書への興味をもたせる**ことができる。

作文のスキルを高める

「ノートのこのこのマスに、このように書きます。」
と、指示を出す。ノートを実物投影機で映すだけ。ノートと同じマス目だから、指示も明確にできる。



児童と同じマス目のノートなら、児童は迷わずに指示通りに書くことができる。**ノートの使い方を徹底**できる。句読点、かっこの**正しい表記の仕方**を指導できる。また、低学年から、**段落を意識した文章の書き方**も指導できる。

スクリーンと板書の併用

スクリーンは動で板書は静。スクリーンには、印象的なものを投影し、一瞬で引き付けたり、児童と同じノートやワークシートを投影しながら、活動の指示を出し、分かりやすく伝える。一方、板書には学習課題、児童の意見やまとめなど大切なことを書いて残す。ホワイトボードの機能をもち、**書き込み**ができたリ、**児童のノート**をすぐに投影できたりする**スクリーンのよさ**と、**チョークで見やすく書ける黒板のよさ**を生かしながら板書計画を立てた。



映ってうれしい みんなで確認

「さあ、今日はだれのノートでしょう。」
実物投影機で児童のノートをスクリーンに映す。
「あっ、わたしのだ。」
該当児童はうれしそうに書いたことを発表。他の児童はスクリーンを見ながら、発表を聞く。
「考えをたくさん書けました。お友達の考えもノートに付け足して書いています。理由に対して、『～だから。』ときちんと答えています。いいノートです。」
とコメントをしながら紹介する。

前時のおさえ、大切なことの確認は、モデルとなるノートでスクリーンに投影し、**みんなで確認**する。この繰り返して**学習の定着**、**よりよいノート作り**を目指すことが可能となる。

子どもの姿

- ・導入で物語のおもしろさをたくさん感じる事ができたので、興味が持続し、単元全体を通して登場人物の気持ちを楽しく想像しながら読みを深める事ができた。
- ・ノートについては、マス目を意識したり、正しい表記で書いたり、丁寧に書いたりする事ができるようになってきた。

子どもの声

- ・ぼくのノートがうつされてうれしかったです。先生にほめられて、うれしかったです。
- ・わたしも、つぎは ちゃんみたいにノートをまとめてみたいです。
- ・絵本がでてきたときに、つぎはどんなお話がうつるのか、ドキドキしました。